

フューチャーフラワー基金 第3期報告会

2011年7月3日 日本・ネパール文化交流倶楽部

2011年7月3日、フューチャーフラワー第3期報告会が開かれました。当日は13名の方(うちネパール人留学生1名)が参加しました。

1. サンジブ代表のあいさつ

サンジブ代表のあいさつでは、震災での被災の状況、ネパールからのこちらの皆様への心配、遅れましたがこうして無事に報告会が開けた喜びの言葉が述べられました。また、今年の4月より第3期の里子支援が始まり、今回はスタッフの鈴木がマイディ村に滞在したことと、日本人の目線から見た村や生活の様子などを聞いて少しでも身近に感じていただきたいという思いが語られました。

2. 自己紹介

今回の参加者は、第3期の新里親さんだけでなく、去年からの里親で震災ボランティアをされている方、去年ネパールで里子に直接会ってきた方、今回から2人目の里子支援も始めたという方、里親にはまだなっていないがカトマンドゥによく通うお客さんで私たちの活動に興味があるという方などがいらっしゃいました。

3. ネパール滞在報告

今回マイディ村に滞在し、皆様の支援金を携え、里子との面会・選出を行ってきた鈴木より報告がありました。

まず、村では農作業や水くみなどたくさんの仕事があることや食生活は野菜がメインであることなど、村での生活についての具体的な説明がありました。第1期・第2期の里子と面会した際には、支援金で買ったものを見せてもらったり、食事に招かれたりと交流を通して、一人ひとりの家族構成なども確認しました。自分で鶏を飼い卵を売って小遣い稼ぎをするという子もおり、村では子供も働くのは当たり前ということを感じたそうです。

新たな里子の選出には、前回選ばれなかった子を優先的に面接し、かつその社会の底辺の家庭を選ぶ為、現地スタッフとの相談を重ねました。また基金の噂を聞いた家族が飛び入りで面接に訪れたこともあり、今回の里親の人数を越えてしまい選出できなかった子供には、期待させすぎず次回のチャンスを待ってもらえるように対応しました。支援者の代表として日本人が村に来てくれたことに、村の人たちは非常に感激し喜びを隠さなかったそうです。

4. 報告に対する参加者からの質問

Q1. 村では毎日水くみの仕事が必要とのことだったが、常に湧水があるのでしょうか？

A1. 乾季には水が出ないこともあります。エリアによって水場が決まっているのだ

が、出ないときは他の水場へ行かなければなりません。

Q2. 村の写真で電線のようなものが見えたが、電気はきているのですか？

A2. きているところとまだないところがあります。テレビやパソコンはほとんど無く電灯からラジオのために使われています。

Q.3 レポートを見ると私の里子は 12 歳なので、手紙は英語で書いても分かりますよね？

A.3 12 歳ですがまだ学年は 3 年生(終了学年の欄を見て)なのでまだ読めないと思いますが、英語で書いたほうがその子の勉強へのやる気に繋がるので、できるのであれば英語でお願いします。

5. ネパール人留学生 マニさんからのお話

昨年 10 月に来日したマニさんは今日の為に駆けつけてくれました。「私の国の子どもたちに対してのあたたかい支援に対して感謝いたします。日本に来る前と後では、イメージの違いはそんなにありませんでした。今住んでいる仙台は物価もそんなに高くないし、ネパールと同じように自転車でいろいろなところにも行けます。大学に入って勉強することが目標なので、日本語で勉強できるようにがんばります」と、落ち着いた様子で話してくださいました。

6. クラブハウス「交流の家」(仮)建設について

サンジブ代表から、クラブハウス建設の為に基金を設立し、賛同者を募り始めたという発表がありました。今回マイディ村の民家に 2 週間滞在した鈴木も、日本の皆様が無理なく安心してマイディ村に滞在し、自然や里子との交流を楽しんでもらいたい、そのためには一つの拠点が必要と感じたそうです。「交流の家」が出来れば、文化、技術、知恵の交換、村の雇用創出などに役立てる計画です。

7. 里子からの手紙や新里子のレポートとカードの配布

子供たちからの心のこもった手紙や、初めて自分の里子の写真やプロフィールを見て、里親としての実感が得られたと思います。

8. その他の連絡

- ネパール交流ツアー 年末年始に計画中、只今参加者大募集中です。
- 第 4 期フューチャーフラワー基金里親申込み 今月末締め切りです。

今回の報告を聞いて、具体的に里子やその家族の生活を知ることができ、より身近に感じられることができました。同時に直接会って交流したいという思いも強くなり、自分からも里子や村のことを理解できるよう手紙を書くなど、働きかけを続けていこうと感じました。

(報告者:鈴木かおり)